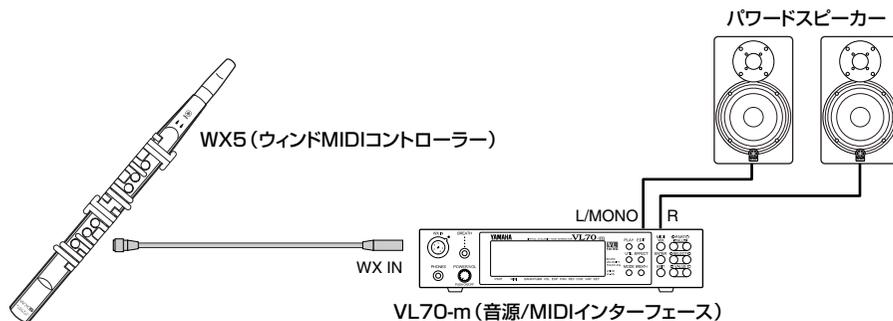


# VL70-m補足説明

本紙では、VL70-mとウィンドコントローラー WX5 (別売)との接続やコンピューターとの接続について説明します。特にコンピューターとの接続については、本製品の取扱説明書の制作時からコンピューター事情が大きく変わっておりますので、本紙での説明をご参照ください。(本文中の参照ページは、本製品の取扱説明書のページです。)またユーザーサポートサービスについても、本製品の取扱説明書の制作時から変更されておりますので、本紙に掲載されている拠点にお問い合わせくださいますよう、お願い申し上げます。

## ウィンドコントローラー WX5 (別売)の専用音源として使用する場合の接続

VL70-mをウィンドコントローラー WX5 (別売)の音源として使用するシステムです。最も一般的な接続です。このときWX5にはVL70-mから電源が供給されます。

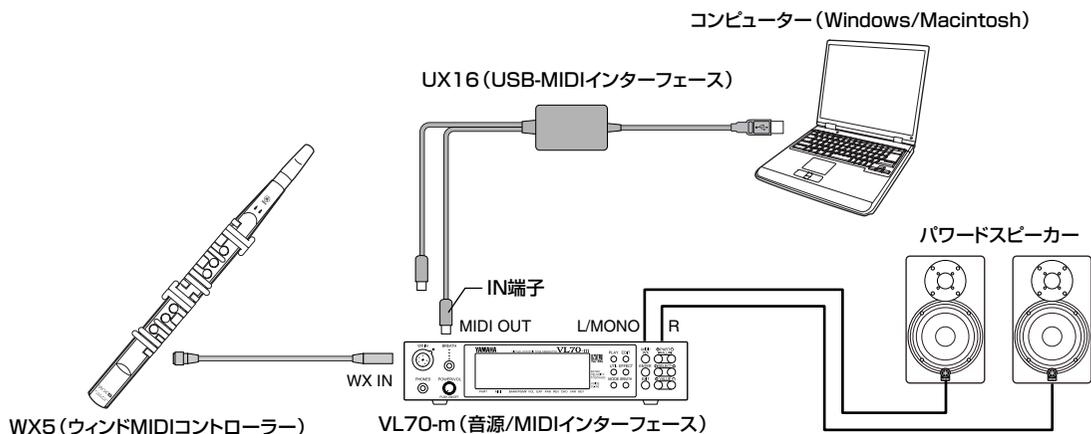


この接続で使用する場合には、次の設定を行ないます。

設定項目	条件	設定	参照ページ
ホストセレクトスイッチ		MIDI	→P.13
プレスモード		BC/WX	→P.152

## WX5での演奏情報(MIDIデータ)をコンピューターでレコーディングする場合の接続

WX5での演奏情報(MIDIデータ)をコンピューターでレコーディングする場合は、「WX5の専用音源として使用する場合の接続」に加えて、VL70-mのMIDI OUT端子とコンピューターに接続したMIDIインターフェースのMIDI IN端子を接続します。たとえばUSB-MIDIインターフェースUX16 (別売)を使用するときは、VL70-mのMIDI OUT端子とUX16のIN端子を接続します。



この接続で使用する場合には、次の設定を行ないます。

設定項目	条件	設定	参照ページ
ホストセレクトスイッチ		MIDI	→P.13
プレスモード		BC/WX	→P.152
サウンドモジュールモード	VL70-mを通常の音源として使う場合 VL70-mをVL-XG (XG音源の拡張)音源として使う場合	VOICE VL-XG	→P.42

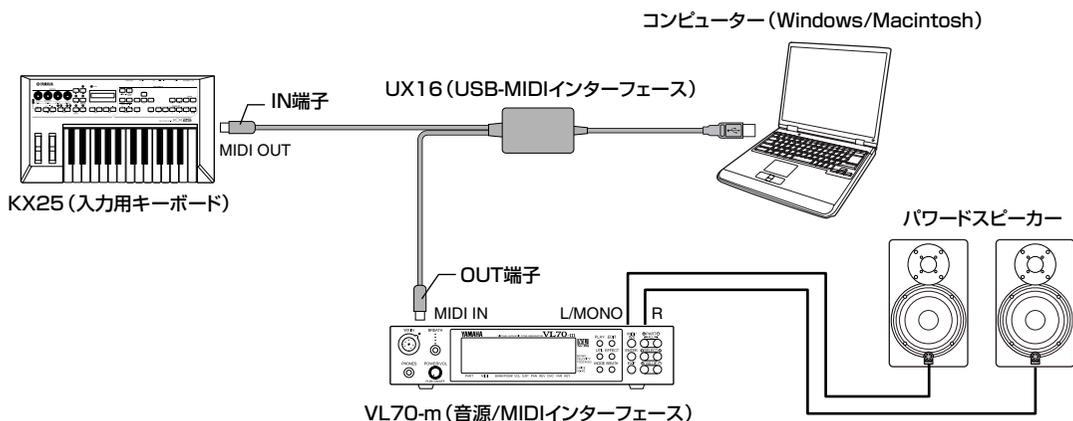
## 音楽制作システムの拡張音源として使用する場合のコンピューターとの接続

VL70-mを音楽制作システムの拡張音源としてコンピューターと接続する場合も、MIDIインターフェースを使用するのが一般的です。

コンピューターに接続されたMIDIインターフェースに、MIDIケーブルを使って接続します。たとえばUSB-MIDIインターフェースUX16 (別売)を使う場合は、UX16のOUT端子とVL70-mのMIDI IN端子を接続します。UX16のIN端子には、入力用キーボードを接続してシステムを拡張できます。USB-MIDIインターフェース機能を持つ外部音源をご使用の場合は、外部音源のMIDI OUT端子とVL70-mのMIDI IN端子を接続して使用することもできます。

### 【重要】

- MIDIインターフェースの接続や設定、インターフェース機能を持つ外部音源の接続や設定については、それぞれのマニュアルをご参照ください。
- コンピューター上のシーケンスソフトウェアで、エコーバック (MIDIスルー) の設定をオンにしてください。



この接続で使用する場合には、次の設定を行ないます。

設定項目	条件	設定	参照ページ
ホストセレクトスイッチ		MIDI	→P.13
サウンドモジュールモード	VL70-mを通常の音源として使う場合 VL70-mをVL-XG音源として使う場合	VOICE VL-XG	→P.42
エコーバック (MIDIスルー)		ON	

## ユーザーサポートサービスのご案内

### ■ 質問の受付

ヤマハデジタル製品は、常に新技術/高機能を搭載し技術革新を進める一方、お使いになる方々の負担とわずらわしさを軽減できるような製品づくりを進めております。また取扱説明書の記載内容も、よりわかりやすく使いやすいものにするため、研究/改善いたしております。

しかし、一部高機能デジタル製品では、取扱説明書だけでは説明しきれないほどのいろいろな知識や経験を必要としてしまうものがあります。

実際の操作に関して、基本項目は取扱説明書に解説いたしておりますが、「記載内容が理解できない」、「手順通りに動作しない」、「記載が見つからない」といったさまざまな問題が起こる場合があります。

そのようなお客様への一助となるよう、弊社ではデジタルインフォメーションセンターを開設いたしております。お気軽にご利用いただけますようご案内申し上げます。お問い合わせの際には、「製品名」、「シリアル番号(SER No.)」をお知らせください。

#### デジタル インフォメーションセンター

◆ TEL: 053-460-1666

◆ 受付日: 月曜日～土曜日

(祝日およびセンターの休業日を除く)

◆ 受付時間: 10:00～18:00(土曜日は10:00～17:00)

<http://www.yamaha.co.jp/support/>

### ■ 営業窓口

#### 国内営業本部 LM営業部企画推進室

〒108-8568 東京都港区高輪2-17-11

TEL. (03) 5488-5430

#### PA・DMI事業部 MP推進部マーケティンググループ

〒430-8650 静岡県浜松市中区中沢町10-1

TEL. (053) 460-2432

#### ヤマハデジタル楽器・DTM製品ホームページ

<http://www.yamaha.co.jp/product/syndtm/>

#### ヤマハマニュアルライブラリー

<http://www.yamaha.co.jp/manual/japan/>

#### あなたの音楽生活をフルサポート

#### ミュージックイークラブ

<http://www.music-eclub.com/>

#### お客様サポート&サービス

<http://www.yamaha.co.jp/support/>

\*名称、住所、電話番号、URLなどは変更になる場合があります。

## 保証とアフターサービス

サービスのご依頼、お問い合わせは、お買い上げ店、またはお近くのヤマハ電気音響製品サービス拠点にご連絡ください。

### ● 保証書

本機には保証書がついています。

保証書は販売店がお渡しますので、必ず「販売店印・お買い上げ日」などの記入をお確かめのうえ、大切に保管してください。

### ● 保証期間

お買い上げ日から1年間です。

### ● 保証期間中の修理

保証書記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

### ● 保証期間経過後の修理

修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料にて修理させていただきます。

下記の部品については、使用時間や使用環境などにより劣化しやすいため、消耗に応じて部品の交換が必要となります。消耗部品の交換は、お買い上げ店またはヤマハ電気音響製品サービス拠点へご相談ください。

#### 消耗部品の例

ボリュームコントロール、スイッチ、接続端子など

### ● 補修用性能部品の最低保有期間

製品の機能を維持するために必要な部品の最低保有期間は、製造打切後8年です。

### ● 持込み修理のお願い

まず取扱説明書の「故障かな?と思ったら」をよくお読みのうえ、もう一度お調べください。

それでも異常があるときは、お買い上げの販売店、または最寄りのヤマハ電気音響製品サービス拠点へ本機をご持参ください。

### ● 製品の状態は詳しく

修理をご依頼いただくときは、製品名、モデル名などとあわせて、故障の状態をできるだけ詳しくお知らせください。

## ■ ヤマハ電気音響製品サービス拠点

(修理受付および修理品お持込み窓口)

### ◆ 修理のご依頼/修理についてのご相談窓口

#### ヤマハ電気音響製品修理ご相談センター

受付時間 月曜日～金曜日 9:00～19:00、土曜日 9:00～17:30  
(祝祭日および弊社休業日を除く)

ナビダイヤル  
(全国共通番号)



市内通話料でOK  
ナビダイヤル® ※一般電話、公衆電話からは、市内通話料金でご利用いただけます。

# 0570-012-808

(IP電話、携帯電話などからおかけになる場合 TEL 053-460-4830)

FAX (053) 463-1127

### ◆ 修理品お持込み窓口

受付時間 月曜日～金曜日 9:00～17:45  
(浜松サービスステーションは 8:45～17:30)  
(祝祭日および弊社休業日を除く)

\* お電話は、電気音響製品修理ご相談センターでお受けします。

#### 北海道サービスステーション

〒064-8543 札幌市中央区南10条西1丁目1-50 ヤマハセンター内  
FAX (011) 512-6109

#### 首都圏サービスセンター

〒143-0006 東京都大田区平和島2丁目1-1 京浜トラックターミナル内14号棟A-5F  
FAX (03) 5762-2125

#### 浜松サービスステーション

〒435-0016 浜松市東区和田町200 ヤマハ(株)和田工場内  
FAX (053) 462-9244

#### 名古屋サービスセンター

〒454-0058 名古屋市中川区玉川町2丁目1-2 ヤマハ(株)名古屋倉庫3F  
FAX (052) 652-0043

#### 大阪サービスセンター

〒564-0052 吹田市広芝町10-28 オーク江坂ビルディング2F  
FAX (06) 6330-5535

#### 九州サービスステーション

〒812-8508 福岡市博多区博多駅前2丁目11-4  
FAX (092) 472-2137

\* 名称、住所、電話番号などは変更になる場合があります。